

一斉個別方式「OK!学習法」に関するブログのご紹介です。

私塾ネット活動報告

／日々の活動記録を書き込みます。
<http://sijukunet.blog.so-net.ne.jp/2010-04-26> 【2010-04-24 ~ 26】



今年は初の地方開催です。まずは、前夜祭。

OK!学習法を使って成功されている、
宮城県の後藤先生より、事例報告。前日の研修にも関わらず、約40名が参加。



畑山先生から、OK!学習法 入門講座についての説明がありました。



一番左より、関先生
(大会長)、畑山先生、
安藤先生、天摩先生、
上野先生(志学塾)。
※左のお二人は
壇の上に乗って
います(笑)。

全員で、
ハイポーズ!

少ない人数で、見事に大会を運営してくださいました。
特に志学塾のスタッフの方々のご活躍には、
感謝の気持ちでいっぱいです。

一斉個別方式「OK!学習法」に関するブログのご紹介です。



宮城県大崎市の学習塾、進学塾「あるふあゼミナールのブログ」
あるふあゼミナールは宮城県大崎市(古川・小牛田・田尻・中新田)の
中学受験、高校受験、大学受験の学習塾、進学塾です。
新みやぎ模試の受付も致します。

テーマ：教育を考える・・・

①【全国から八戸に塾長や塾の職員が集まった…】2010-04-26 19:22:43
<http://ameblo.jp/alpha-semi/entry-10518663820.html#main>

昨日の日曜日は八戸グランドホテルを会場として全国塾長・職員研修大会という
集まりがあった。

題して「複数の視点から見る個への対応」主催は全日本私塾教育ネットワークと
いう学習塾の任意団体、地元RAB青森放送やデーリー東北新聞社などの後援と
あるが要するに学習塾の先生方の研修会である。

宮城からも自分を含めて3名の塾長が参加した。朝、久しぶりに見た感のある青
空の中を車で八戸に向かう。わざわざ、八戸まで行かなくても・・・という思いが
ないわけではない。他にすべきことが沢山ある。机の上の山も片づけなければ
・・・と錯綜する思いがなかったわけではない。

しかし、会場につくとそうした思いはすっかり吹き飛んでしまった。準備にあた
られている先生方の真摯な態度に圧倒されたのだろうか。この研修、実は前日か
らの続きだという。本当に全国から様々な先生方が集まっている。先に帰られた
人もあって、全体で80名位の先生たちが会場を埋め、和やかな中にも真摯な態
度が満ち溢れていた。いつもの顔なじみばかりの集まりとはちがって、新鮮であ
った。

研修の内容もとても斬新で、目からウロコのような刺激を受けることが沢山あっ
た。地元選出 衆議院議員の田名部匡代氏も来賓でありながら、本当に参加者の
一員のように研修に参加され、私立高校の先生も参加して研修が展開された。

ざっと三時間半があつという間に過ぎてしまった。とりわけ、古牧温泉の再建に
力を尽くされている佐藤大介さんのお話は示唆に富むことが多かった。聞けば年
齢は35歳との由。しかし、お話の内容は率直で、随所に感銘させられたのであ
る。特にマルチスタッフを生み出していくプロセスには考えさせるものがあった。
中でもDVD映像はマルチスタッフの人たちが、自分の仕事に働きがいと生きが
いを感じているとすぐに見て取れるいささかの作為性も感じられないものであ
った。学習塾も旅館業と同じサービス業であり、働く人の占める比重は決定的な要
素である。子どもたちや保護者の方の満足感を得られなければおかねをいただけ
ない厳しいものなのだ。「心に届かない」、論理は無用といわれたのには反省し
きり。

「きのう学校関係の研修会がありました。退屈極まりないものだったのに、今日
の塾の研修は長い時間があつという間に過ぎてしまいました。」とある高校の先
生が感想を語られていたのが印象的だった。 充実の一日・・・

その夜は、屋台村(みろく横丁)は、東の空が白むころまで語り合う人々であふ
れていた。就寝午前4時・・・起床9時・・・塾到着・・・午後3時。
企画、準備に当たられた志学塾の畑山塾長とスタッフの皆さん本当にありがとう。

②【考える力を育てる・・・過干渉、過接触について】2010-04-27 20:55:56
<http://ameblo.jp/alpha-semi/entry-10519548829.html#main>

八戸の塾の研修ではいろいろな視点から「個」を極めるというものであった。集団授業の中の「個」をどう極めるか・・・「個」をみるイコール個別指導・家庭教師といった短絡的な発想とは少し違った視点である。

八戸の志学塾のシステムは集団個別という概念を打ち出して面白い。集団個別と共に「教えない・授業をしない！」塾というあり様を実践的に提起している。始めてみた人は本当に驚かされる。

「OK学習法」と名付けられた自主勉強である。

みんながほとんど一言も発せず、自分の勉強に本当に集中している。先生は採点さえしない。生徒が自分で答え合わせをした結果を先生に報告するだけである。

教えない先生！

頑張った結果を認めるだけの先生。完全にできたときOK！の認め印を押して頑張りを認めるだけの先生。

先生にとって教えずに、いや教えずに！ということはこの上ない苦痛といってよい。

しかし、よく観察していると子どもたちは本当に集中して例題に取り組んでいるのだ。全部で来て、認めの手紙をもらう時には本当に充実した表情をしているのだ。自分で分かった時には本当に感激している。何に？自分で分からないところを見つけ自分で解決の道を見つけた自分にであろうか。

ヒント(調べるための)をもらって解決できたとき本当に感謝しているのだ。京大個別会のテレビカメラに向かって、本当に深々と頭を下げている高校生がいた。今時にはめずらしい光景である。なぜか、・・・彼は教えられる前にさんざん自分で挑戦してなお解決できなかった所を絞り込んでいるからなのだ。きつとわかった事は後々まで忘れることはないだろう。・・・とその様子を見ていて感じさせられた。

教えるということとはもすれば分かる人の、子どもから見れば大人の干渉になっていることがあるのだ。干渉と意識していなくとも、簡単に問題解決の方法を教えるのは、過接触になっているのだ。パソコンですぐに調べられる・・・辞書を調べる面倒がない。そして、解決すれば忘れてしまうのだ。自分の力として残ることは少ない。

ひところ少子化に伴い過干渉、過接触ということが話題になった。ゆとり教育の中で、考える力自ら解決する力を育てることが語られた。

志学塾の教えない授業をみると、これまで私たちが、さまざまに奮闘してきたのは考える力を育てることにつながっているのか・・・子供たちの発見の感激や、達成感を奪っていたのではないかとさえ考えさせられるものなのだ。

百聞は一見に如かず！ 志学塾の教室は一見に値しますよ・・・

③【過干渉あるいは過接触・・・その結果・・・】2010-04-28 20:02:21
<http://ameblo.jp/alpha-semi/entry-10520377861.html#main>

教えない塾、授業をしない塾、八戸の志学塾のことを書きました。続いて考えることを...

もちろん何事にせよ学ばんとするときに適切な指導者を得ることはとても大切な要素である。適切な指導者とはどんな人をいうのだろうか。人によって異なるのであって、一概に〇〇な人と決めることは出来ないものだろう。

あるふあゼミナールで大学生の皆さんなど講師をお願いする時には、一定期間「研修」をお願いするのが普通である。「研修」って何をやるんですか？と聞かれるが電話の受け方とか、教え方とか、ほとんど何もしない。ただ、どこでもいいから他の人の授業に入って自由に見ることをお願いしている。先輩の授業を見るのではなく、生徒一人一人をまわってみる練習です・・・と答えることにしている。教えるということは、相手の人を観ることから始まると思うからである。

「皆さんは今まで学生として見られる立場でした。教えるためには、教える内容について自分がよく理解していなければなりません、それだけでは不十分です。相手の人をよく観ることが必要です。」

さすがは、わが塾の講師陣である。それだけで短期間のうちに基本的な事柄は大體習得するようである。

さて、私は・・・うちでは・・・過干渉なんてしていない・・・と思っている、あるいはそうならないように気を付けているつもりであっても、少子化、核家族の現状では過接触になりがちなのだと知っておかなければならない。だからと言って、無関心あるいは放置が良いのではない。子どもの成長にあわせて干渉範囲を思いっきり拡大させながらも、観ることに細心の注意力をもって当たらなければならない。

私は、「視線を延ばす」というのだが、きちんと視線が届いていれば、子どもたちはその視線をチャンと感じとり伸びた視線が長ければ長いほど安心空間は拡大し、のびのびと育っていくようである。

授業をしない「志学塾」の空間は細心、最大の意識を集中して子どもたち一人ひとりの些細な動きまでとらえ、気を配っているし、せんせいのたったひとりが誰にとっても正当で、うれしく響くようである。

実は教えない、授業をしない講師の先生は教室の四隅にまで心をとどかせ、緊張の連続なのだ。その中で子供たちは、安心して自分のことに集中しているのである。(うまく言い表すことが出来ないが)

教育心理学で古典的にいわれる「水辺に連れていくことは出来るが、水を飲ませることは出来ない。」という例えは自ら学ぼうとする意欲の大切さと意欲を引き出すことのむずかしさを示している。

志学塾での学習はその点で衝撃的な示唆に富む。

私ごとですが・・・明日はお休みを頂いて金沢の孫の顔をみに妻君？と小旅行と相成りました。あるふあは29日は平常通り各教室を開きます。ではでは・・・